

平成28年第1回市議会臨時会

市長提案理由

議第71号
(泉都復興予算)

(平成28年7月14日提案)

平成28年第1回市議会臨時会の緊急な招集に対し、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

今回編成した予算は、市民の住宅の復旧と生活を支援し、一日も早い復旧・復興を目指す「泉都復興」予算であります。

熊本地震から3か月が過ぎようとしています。

発災直後から、インフラの早期復旧や深刻な打撃を受けた観光関連産業の影響を緩和する風評被害対策など「できることは全てやる」方針の下、議会の御協力もいただき、数次の補正予算を編成し、速やかに対応してまいりました。

しかし、市民生活の現状をみると、ブルーシートで覆われた家屋や崩壊した塀など地震の傷跡はいまだ癒えることなく、泉都復興はようやく緒に就いたところです。

本市の復興は観光の復活であります。市民生活が日常を取戻し、安心して暮らせる地域の活力が戻ってこそ、観光の復活、さらには別府の復興が実現できるものであります。

百年に一度と言われていますこの非常事態に対しては、別府の将来を考え、それぞれができることを最大限行っていかなければなりません。

地域に活力を与え、観光客を呼び戻し、「泉都復興」に向け、全力で取り組んでまいります。

それでは、ただいま上程されました議第71号平成28年度別府市一般会計補正予算(第5号)について、御説明いたします。

今回の補正額は4億円であり、補正後の予算額は、487億1,690万円となります。

まず、民生費では、「災害救助に要する経費」として、災害により住宅が損壊し、被害を受けた世帯を支援する災害被災者住宅再建支援金及び災害見舞金を計上しています。

6月補正予算に所要額を計上しましたが、申請者の増加により、予算額を超えることが見込まれるため、追加の予算を計上するものです。

次に、土木費では「べっふ復興建設券発行に要する経費」として、地震により家屋や塀などが損壊した被災者の復旧を支援するため、25パーセントのプレミアム付き建設券を発行する経費を計上しています。

また、今後の震災復興及び不測の災害等に対して迅速に対応するため、復興・危機対応の予備費を計上しています。

以上で議案の説明を終わります。

慎重な御審議を、よろしくお願い申し上げます。